

2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月12日

上場会社名 株式会社 トラスト 上場取引所 東
コード番号 3347 URL https://www.trust-ltd.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川村 賢司
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 野木森 直樹 TEL 052-219-9058
定時株主総会開催予定日 2023年6月22日 配当支払開始予定日 2023年6月7日
有価証券報告書提出予定日 2023年6月23日
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	34,284	24.1	2,377	28.0	2,467	28.9	1,246	50.7
2022年3月期	27,617	37.5	1,856	251.9	1,914	253.7	827	-

(注) 包括利益 2023年3月期 2,012百万円 (48.6%) 2022年3月期 1,354百万円 (288.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	48.16	-	15.4	6.8	6.9
2022年3月期	31.96	-	11.4	6.1	6.7

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 -100万円 2022年3月期 -100万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	39,480	13,338	21.8	332.30
2022年3月期	33,612	11,629	22.7	294.96

(参考) 自己資本 2023年3月期 8,598百万円 2022年3月期 7,632百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	7,262	△4,732	△2,979	975
2022年3月期	4,783	△2,442	△1,673	1,418

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	-	2.00	-	4.00	6.00	155	18.8	2.1
2023年3月期	-	4.00	-	2.00	6.00	155	12.5	1.9
2024年3月期(予想)	-	3.00	-	3.00	6.00		17.8	

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,106	6.4	1,088	△27.8	1,013	△44.0	418	△59.5	16.15
通期	39,012	13.8	2,442	2.7	2,282	△7.5	873	△29.9	33.73

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
 新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	28,150,000株	2022年3月期	28,150,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期	2,273,100株	2022年3月期	2,273,100株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	25,876,900株	2022年3月期	25,876,900株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	10,410	13.3	76	△44.0	377	6.3	291	18.9
2022年3月期	9,184	82.9	135	—	355	—	245	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	11.28	—
2022年3月期	9.49	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2023年3月期	9,157	36.6	3,355	37.4	36.6	129.66		
2022年3月期	8,767	37.4	3,281	37.4	37.4	126.82		

(参考) 自己資本 2023年3月期 3,355百万円 2022年3月期 3,281百万円

2. 2024年3月期の個別業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期（累計）	5,745	△10.2	130	△79.6	90	△81.0	3.49	
通期	11,000	5.7	180	△52.3	124	△57.2	4.82	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概要(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が徐々に緩和され、経済活動との両立が進むなかで景気に持ち直しの動きが見られるものの、欧米各国の景気後退懸念の拡大、サプライチェーンの混乱や地政学的リスクの影響等を背景とした原油価格の高騰、為替相場の不安定な変動など、世界経済及び日本経済は依然不透明な状況となっております。

このような状況のなか、当社グループは、中核事業であり海外市場をターゲットとしている中古車輸出事業、自動車の所有から利用の流れの中で安定的な成長を続けるレンタカー事業、さらに南アフリカ共和国において海外自動車ディーラー事業の3つの事業を行っており、安定的で収益力のある事業体の構築を目指しております。

その結果、売上高34,284百万円(前期比24.1%増)、営業利益2,377百万円(前期比28.0%増)、経常利益2,467百万円(前期比28.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,246百万円(前期比50.7%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 中古車輸出事業

中古車輸出業界においては、新型コロナウイルス感染症の影響は概ね払拭され需要は回復し、アラブ首長国連邦、ニュージーランドといった主要輸出先が当業界を牽引し、この一年は、輸出台数が大幅に増加しました。

新車輸出業界において、世界的な半導体不足や新型コロナウイルス感染症の影響によって減少していた生産台数も回復傾向にあり、一部航路における自動車専用船のスペースが逼迫しつつあることから、中古車輸出業界の物流にも影響が出はじめてきているものの、当連結会計年度における業界全体の輸出台数は128.7万台(前期比5.3%増)と増加しました。

このような状況のなか、当社主要輸出先であるアフリカ地域、オセアニア地域、中南米地域へのB to C販売先台数の減少に加え、B to B販売先に注力し始めたアジア地域、オセアニア地域への輸出台数が一部輸出先国の外貨流出防止施策等によって抑制され、当社グループの輸出台数の合計は4,534台(前期比23.5%減)となりました。

一方、当期は通期全体では為替が円安に進行したことに加え、一部一台当たり販売単価の高い車輛の取り扱いが伸長したことにより売上高は増加いたしました。

その結果、当連結会計年度における業績は、売上高10,410百万円(前期比13.3%増)、営業利益76百万円(前期比44.0%減)となりました。

② レンタカー事業

レンタカー業界においては、国内消費のみならず、新型コロナウイルス感染症の水際対策が緩和されたことからインバウンド需要が復調し、市場規模はコロナ禍以前の様相を取り戻しております。

このような状況のなか、当社グループは、当連結会計年度においてより効率的な運営の為一部店舗の移転をし、直営店及びF C店の総店舗数は187店、総保有台数は24,901台(前期比21.1%増)(※うち、Jネットブランドのみの店舗数は124店、保有台数は17,038台(前期比16.2%増))となりました。また、顧客満足度向上のため車輛の高年式化やインターネット・TV CMなど各種媒体への広告拡大による知名度の浸透を図るとともに、楽天ポイントカードやレンタルバイク店舗の出店など様々な施策を継続実施し、個人・法人顧客の獲得に注力いたしました。中古車販売においては、新車減産にともなう中古車人気も相まって「Jネットカーズ」ブランドを中心に伸張し、売上高・営業利益ともに前期を上回りました。

その結果、当連結会計年度における業績は、売上高16,185百万円(前期比22.4%増)、営業利益2,110百万円(前期比31.7%増)となりました。

③ 海外自動車ディーラー事業

南アフリカ共和国においては、電力をはじめとしたインフラ全般や国営企業の経営状況の懸念から、国政に対する不安が広がっているものの、新型コロナウイルス感染症対策としての制限は緩和され、国民の生活は通常を取り戻しつつあり、2022年1-12月期の新車販売台数は52.9万台(前期比13.9%増)となり大幅に増加しております。

このような状況のなか、当社グループは、南アフリカ共和国でスズキディーラー5店舗を運営しております。新車販売台数は合計3,174台(前期比42.8%増)、中古車販売台数は合計1,301台(前期比21.7%増)となり合計販売台数は合計4,475台(前期比35.9%増)となっております。

その結果、当連結会計年度における業績は、売上高8,037百万円(前期比48.8%増)、営業利益210百万円(前期比70.3%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて14.7%増加し、19,009百万円となりました。これは、リース債権及びリース投資資産が1,968百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて20.1%増加し、20,470百万円となりました。これは、機械装置及び運搬具が2,087百万円増加したことなどによります。

その結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて17.5%増加し、39,480百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて23.1%増加し、21,409百万円となりました。これは、リース債務（流動）が1,942百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.2%増加し、4,732百万円となりました。これは、リース債務（固定）が129百万円増加したことなどによります。

その結果、負債は、前連結会計年度末に比べて18.9%増加し、26,142百万円となりました。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて14.7%増加し、13,338百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ443百万円減少し、975百万円となりました。なお、当連結会計年度の各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度において、営業活動の結果獲得した資金は7,262百万円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益2,779百万円、減価償却費5,261百万円があったことによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度において、投資活動の結果使用した資金は4,732百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出4,926百万円があったことによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度において、財務活動の結果使用した資金は2,979百万円となりました。これは主にリース債務の返済による支出4,523百万円があったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率	22.7%	23.6%	23.7%	22.7%	21.8%
時価ベースの自己資本比率	18.4%	12.6%	15.6%	16.9%	19.3%
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率	120.8%	136.5%	217.5%	259.2%	200.5%
インタレスト・カバレッジ・ レシオ	58.2倍	87.8倍	39.0倍	38.6倍	51.1倍

(注) 1. 自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

(株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。)

キャッシュ・フロー対有利子負債率：有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー/利払い

2. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

3. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

中古車輸出事業につきましては、WEBサイトを通じたBtoC販売の拡充、継続的なBtoB販売先の新規開拓、部品販売の強化等により引き続き売上の拡大に努めてまいります。レンタカー事業につきましては、既存出店エリア及び空白エリアへの新規出店を積極的に推進し、より利便性の高い店舗網を構築してまいります。海外自動車ディーラー事業につきましては、既存店舗の更なる収益改善に努め、売上拡大及び利益向上を図ってまいります。

いずれの事業におきましても、今後の新型コロナウイルス感染症の推移やロシア・ウクライナ情勢及び為替の動向等の影響は依然不透明であり、今後の見通しが立てづらい環境下にはございますが、株主様をはじめとするステークホルダーの皆様方の安全・安心を最優先に事業を継続してまいります。

以上の結果、2024年3月期の連結業績の見通しにつきましては、売上高39,012百万円（前期比13.8%増）、営業利益2,442百万円（前期比2.7%増）、経常利益は2,282百万円（前期比7.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は873百万円（前期比29.9%減）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,418,511	975,211
受取手形	41,815	36,199
売掛金	3,779,104	3,553,484
リース債権及びリース投資資産	7,415,826	9,384,446
商品及び製品	3,217,384	3,994,223
仕掛品	954	427
原材料及び貯蔵品	32,213	44,679
その他	859,372	1,211,562
貸倒引当金	△195,739	△190,530
流動資産合計	16,569,445	19,009,705
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,808,139	3,125,170
減価償却累計額	△969,585	△1,095,491
建物及び構築物 (純額)	1,838,553	2,029,678
機械装置及び運搬具	6,425,470	9,219,027
減価償却累計額	△2,864,331	△3,570,063
機械装置及び運搬具 (純額)	3,561,138	5,648,964
土地	3,500,983	3,970,116
リース資産	10,956,544	11,734,883
減価償却累計額	△3,974,912	△4,482,335
リース資産 (純額)	6,981,632	7,252,548
その他	227,541	287,491
減価償却累計額	△154,485	△162,989
その他 (純額)	73,055	124,502
建設仮勘定	8,317	315,810
有形固定資産合計	15,963,682	19,341,620
無形固定資産		
のれん	52,630	45,183
その他	72,881	103,762
無形固定資産合計	125,512	148,945
投資その他の資産		
投資有価証券	291,602	242,939
長期貸付金	139,845	131,690
繰延税金資産	184,575	207,894
その他	420,675	473,875
貸倒引当金	△83,002	△76,269
投資その他の資産合計	953,696	980,129
固定資産合計	17,042,890	20,470,696
資産合計	33,612,335	39,480,401

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	573,409	682,271
短期借入金	4,750,000	6,600,000
1年内返済予定の長期借入金	2,519	—
リース債務	9,677,557	11,620,065
未払法人税等	588,314	299,882
契約負債	487,708	455,688
賞与引当金	139,341	156,517
その他	1,179,288	1,594,968
流動負債合計	17,398,139	21,409,394
固定負債		
リース債務	4,408,633	4,538,269
役員退職慰労引当金	11,685	15,062
資産除去債務	75,922	80,224
その他	88,111	99,194
固定負債合計	4,584,352	4,732,750
負債合計	21,982,492	26,142,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,349,000	1,349,000
資本剰余金	1,174,800	1,174,800
利益剰余金	5,709,255	6,748,352
自己株式	△618,209	△618,209
株主資本合計	7,614,846	8,653,943
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,500	3,901
為替換算調整勘定	2,421	△58,892
その他の包括利益累計額合計	17,922	△54,991
非支配株主持分	3,997,074	4,739,304
純資産合計	11,629,843	13,338,256
負債純資産合計	33,612,335	39,480,401

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	27,617,161	34,284,045
売上原価	20,870,394	26,363,952
売上総利益	6,746,766	7,920,092
販売費及び一般管理費	4,889,770	5,542,229
営業利益	1,856,995	2,377,863
営業外収益		
受取利息	10,626	17,320
受取配当金	6,927	6,871
為替差益	155,587	187,236
受取保険金	1,051	1,485
受取補償金	20	—
助成金収入	2,387	10,250
その他	10,503	12,146
営業外収益合計	187,104	235,311
営業外費用		
支払利息	124,081	142,384
支払保証料	2,877	1,125
その他	2,170	2,149
営業外費用合計	129,129	145,659
経常利益	1,914,970	2,467,515
特別利益		
投資有価証券売却益	—	299,119
保険解約返戻金	—	17,867
特別利益合計	—	316,986
特別損失		
固定資産除却損	2,042	4,028
固定資産撤去費用	—	700
特別損失合計	2,042	4,728
税金等調整前当期純利益	1,912,928	2,779,773
法人税、住民税及び事業税	703,225	719,918
法人税等調整額	△98,134	△25,129
法人税等合計	605,090	694,789
当期純利益	1,307,837	2,084,983
非支配株主に帰属する当期純利益	480,795	838,872
親会社株主に帰属する当期純利益	827,041	1,246,111

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	1,307,837	2,084,983
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,052	△11,586
為替換算調整勘定	49,510	△61,314
その他の包括利益合計	46,457	△72,901
包括利益	1,354,294	2,012,082
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	873,489	1,173,197
非支配株主に係る包括利益	480,804	838,884

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,349,000	1,174,800	4,985,721	△618,209	6,891,312
当期変動額					
剰余金の配当			△103,507		△103,507
親会社株主に帰属する当期純利益			827,041		827,041
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	723,533	—	723,533
当期末残高	1,349,000	1,174,800	5,709,255	△618,209	7,614,846

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	18,562	△47,088	△28,525	3,564,596	10,427,383
当期変動額					
剰余金の配当					△103,507
親会社株主に帰属する当期純利益					827,041
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,061	49,510	46,448	432,477	478,926
当期変動額合計	△3,061	49,510	46,448	432,477	1,202,460
当期末残高	15,500	2,421	17,922	3,997,074	11,629,843

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,349,000	1,174,800	5,709,255	△618,209	7,614,846
当期変動額					
剰余金の配当			△207,015		△207,015
親会社株主に帰属する当期純利益			1,246,111		1,246,111
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,039,096	—	1,039,096
当期末残高	1,349,000	1,174,800	6,748,352	△618,209	8,653,943

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	15,500	2,421	17,922	3,997,074	11,629,843
当期変動額					
剰余金の配当					△207,015
親会社株主に帰属する当期純利益					1,246,111
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△11,599	△61,314	△72,913	742,230	669,316
当期変動額合計	△11,599	△61,314	△72,913	742,230	1,708,413
当期末残高	3,901	△58,892	△54,991	4,739,304	13,338,256

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,912,928	2,779,773
減価償却費	4,640,775	5,261,398
のれん償却額	6,189	6,224
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	44,929	△11,620
賞与引当金の増減額 (△は減少)	16,549	17,176
受取利息及び受取配当金	△17,554	△24,191
支払利息	124,081	142,384
為替差損益 (△は益)	△10,473	△21,419
固定資産除却損	2,042	4,028
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△299,119
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,264,593	229,645
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△105,891	494,308
仕入債務の増減額 (△は減少)	△71,823	149,566
未払消費税等の増減額 (△は減少)	109,901	458,418
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△522,678	△1,191,182
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	107,087	347,968
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△1,888	19,650
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	17,743	9,954
その他	9,362	11,219
小計	4,996,689	8,384,183
利息及び配当金の受取額	17,106	23,771
利息の支払額	△123,876	△142,133
法人税等の支払額	△106,194	△1,003,205
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,783,724	7,262,616
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△18,000
有形固定資産の取得による支出	△2,375,813	△4,926,873
無形固定資産の取得による支出	△37,427	△57,637
投資有価証券の売却による収入	—	333,119
投資有価証券の取得による支出	△20,000	—
貸付けによる支出	△350	—
貸付金の回収による収入	13,827	1,237
敷金及び保証金の差入による支出	△41,387	△84,714
敷金及び保証金の回収による収入	27,212	28,415
その他	△8,168	△7,888
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,442,107	△4,732,340
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,300,000	1,850,000
長期借入金の返済による支出	△9,996	△2,519
配当金の支払額	△103,578	△206,901
非支配株主への配当金の支払額	△48,327	△96,654
リース債務の返済による支出	△3,811,532	△4,523,135
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,673,434	△2,979,210
現金及び現金同等物に係る換算差額	32,060	5,634
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	700,243	△443,300
現金及び現金同等物の期首残高	718,268	1,418,511
現金及び現金同等物の期末残高	1,418,511	975,211

- (5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、取扱い商品及びサービス別にセグメントを構成しており、「中古車輸出事業」、「レンタカー事業」、「海外自動車ディーラー事業」を報告セグメントとしております。

「中古車輸出事業」は、インターネットでのWebサイトを利用して、主に海外の個人顧客向けに中古車の輸出販売を行っております。「レンタカー事業」は、フランチャイズ事業と併せて全国でレンタカーサービス、自動車リースサービスを提供しております。「海外自動車ディーラー事業」は、南アフリカ共和国において自動車ディーラーを運営し、新車・中古車の販売及び自動車の修理を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベース(のれんの償却前)の数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	9,143,248	13,071,670	5,402,242	27,617,161	—	27,617,161
セグメント間の内部売上高 又は振替高	41,696	156,390	—	198,086	△198,086	—
計	9,184,945	13,228,060	5,402,242	27,815,247	△198,086	27,617,161
セグメント利益又は損失(△)	135,971	1,601,622	123,372	1,860,967	△3,971	1,856,995
セグメント資産	8,767,571	24,509,324	949,830	34,226,725	△614,389	33,612,335
セグメント負債	5,485,771	16,114,078	401,466	22,001,317	△18,824	21,982,492
その他の項目						
減価償却費	23,668	4,609,020	8,087	4,640,775	—	4,640,775
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	36,656	2,856,482	3,848	2,896,986	—	2,896,986

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	10,366,918	15,879,942	8,037,184	34,284,045	—	34,284,045
セグメント間の内部売上高 又は振替高	43,238	305,526	—	348,765	△348,765	—
計	10,410,156	16,185,469	8,037,184	34,632,810	△348,765	34,284,045
セグメント利益又は損失(△)	76,076	2,110,055	210,086	2,396,218	△18,355	2,377,863
セグメント資産	9,129,485	29,949,963	1,209,279	40,288,729	△808,327	39,480,401
セグメント負債	5,774,313	20,033,594	532,055	26,339,963	△197,818	26,142,145
その他の項目						
減価償却費	26,784	5,226,311	8,302	5,261,398	—	5,261,398
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	53,531	4,959,338	172,873	5,185,742	—	5,185,742

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(セグメント利益又は損失(△))

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	—	—
のれん償却額	△6,189	△6,224
棚卸資産の調整額	2,217	△12,131
合計	△3,971	△18,355

(セグメント資産)

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	△511,391	△690,649
のれん償却額	△94,402	△101,387
棚卸資産の調整額	△4,953	△12,912
その他の調整額	△3,642	△3,378
合計	△614,389	△808,327

(セグメント負債)

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	△15,182	△194,440
その他の調整額	△3,642	△3,378
合計	△18,824	△197,818

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	中古車輸出事業	レンタカー事業	海外自動車 ディーラー事業	合計
外部顧客への売上高	9,143,248	13,071,670	5,402,242	27,617,161

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アフリカ	北中南米	オセアニア	ヨーロッパ	アジア	合計
14,410,912	6,766,275	276,353	1,014,141	173,271	4,976,206	27,617,161

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客への売上高がないため、記載は省略しております。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	中古車輸出事業	レンタカー事業	海外自動車 ディーラー事業	合計
外部顧客への売上高	10,366,918	15,879,942	8,037,184	34,284,045

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アフリカ	北中南米	オセアニア	ヨーロッパ	アジア	合計
17,809,766	9,359,594	338,402	1,467,466	157,121	5,151,693	34,284,045

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えているため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客への売上高がないため、記載は省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	中古車輸出事業	レンタカー事業	海外自動車 ディーラー事業	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	—	6,189	6,189
当期末残高	—	—	4,018	48,611	52,630

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	中古車輸出事業	レンタカー事業	海外自動車 ディーラー事業	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	—	6,224	6,224
当期末残高	—	—	3,557	41,625	45,183

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	294円96銭	332円30銭
1株当たり当期純利益金額	31円96銭	48円16銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	827,041	1,246,111
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	827,041	1,246,111
期中平均株式数(株)	25,876,900	25,876,900

(重要な後発事象)

該当事項はありません。